

全国の仲間と鎌倉を歩く！ 「全国交流ウォークin鎌倉」

10月21日・22日、「全国交流ウォークin鎌倉」が「新スポ連ウォーキング協議会」主催「全国ウォーキング協議会関東ブロック」主管で開催されました。

清々しい秋空の下、全国のウォーキングクラブをはじめ新スポ連に結集する他競技のクラブの皆さんが集い交流を深めることができた。

今年度は関東ブロック（千葉、神奈川、東京）が中心だったため、千葉の浅沼さんが実行委員長として、1年間準備を進めてきました。



前夜祭でにこやかに
対応する浅沼さん

月1回のZoom会議による運営委員会を経て、今回の会場

を「鎌倉」に決定し、全国のクラブに「ニュースレター」を発信し、準備の進み具合を知らせることとしました。

全国の仲間を迎えるにあたって、何回もコースの下見を重ね、足場の悪い箇所は市当局に修繕を申し入れ、ルートを決定してきました。

そして、昨年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が舞台になった古都鎌倉を楽しんでもらうこととなり五つのコースを決定しました。

今年度のテーマは「800年の歴史息づく感

動の鎌倉ウォーキング」

本番前日の21日には横浜みなとみらいウォーキング（63名参加）を開催しました。その日の夜には本場中華街での前夜祭（172名参加）。全国の仲間と交流しました。

10月22日の本番は5つのコースに分かれてのウォーキングです。（235名参加）前夜祭でしっかり交流を深めたところで、各自思い思いのコースを選びウォーキングに挑戦。

千葉からの参加者はこのうちの第1コースに5人、第3コースに3人が参加しました。

第1コース 「秋の静けさ漂う禅の寺巡りと北鎌倉ハイキング」（8km）

第3コース 感動の異空間 大仏切通しを抜け鎌倉殿の海・由比ガ浜へ（6km）

第1コースの参加者から次のとおり感想を頂きました。



佐々木さん『鎌倉ウォークのネーミングに惹かれ、8キロコースに参加しました。足腰に不安がありましたが、歩ききることができました。縁切り寺や縁結びの寺、頼朝さんとの記念撮影もできて良かったです。神奈川の皆様ありがとうございました。』

奥山さん『鎌倉には何度も行っていますが、初めてのコースで面白かったです。お金洗いました。交流会で他県の方とお話しできました。皆様有り難うございました。』

人見さん『ありがとうございました。ギック



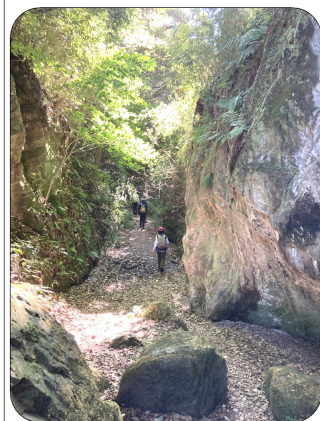
り腰で足の痛みが心配でしたが、無事歩く事ができました。内海さんのガイドはポイントがあり、鎌倉の歴史や素晴らしい自然に触れることができました。他県の方々と交流も出来楽しかったです。』



東山さん『準備が大変だったと思います。リーダーさん

の解説や歩行中の気配りすばらしかったです。神奈川のウォーキングクラブの組織がしっかりしていることに感銘を受けました。本当にありがとうございました。』

第3コースの概要は次のとおりでした。



バスで「大仏切通し」に向かい切通しウォーク。山を切り開いたとは言え落ち葉いっぱいの急な坂道。これでは敵は侵入できないと実感しました。

途中に鎌倉ならではの「やぐら」跡を見学。「やぐら」というのは岩を削って穴にしてそこに墓を作ったという鎌倉独特の墓。驚きでした。

そして国宝「鎌倉大仏」へ。高さ11.3mの阿弥陀様を拝み「世界平和」を祈願しました。

稲瀬川の碑を通過して「由比ガ浜」へ。ここでおやつタイム。横浜の銘菓「鳩サブレ」に舌鼓を見ながら海の見学。

江ノ電に乗り鎌倉駅へ。北条正子と息子源実朝のやぐらのある「福寿寺」に、そして最終コース、頼朝が政子の安産を祈願して造った参道「若宮大路」へ。一段高くなった道「段葛」を体験。八幡宮が遠くに感じることを実感しました。

「源氏池」「平家池」の解説を聞いた後「鶴岡八幡宮」を参拝。

お昼は「崎陽軒シュウマイ弁当」。

鎌倉時代を肌で感じたウォーキングで、やはり実際にこの目で見たり、体験することが大切だと実感した二日間でした。

来年は「沖縄」でスポーツ祭典が開かれ、交流ウォーキングは早くも準備が始まりました。

解散した後、千葉県連盟の参加者は神奈川県ウォーキング協議会の吉越さんからお誘いを受けて、鎌倉駅近くの居酒屋で、ささやかながら打ち上げを行いました。

この店に財布を置き忘れ、翌日財布を取りに鎌倉に再び行った人がいた事は余談です。

文責・日野正生（千葉県ウォーキング協議会）



大仏をバックに
竹村さんと浅沼さん

